

低価格でも妥協しないおもちゃづくり

お祭りの景品としてもらったスーパーボールや小さな人形を心躍らせながら家に持ち帰った。幼い頃のそんな記憶があなたにもあるのではないだろうか。
低価格で手に取りやすいおもちゃを製造する会社が岩倉市にあります。

低価格・多品種が強み

低単価の商品を主力としているおもちゃの製造メーカーです。主力商品は「ぶかぶか」というアヒルやお寿司などの形をした水に浮かぶおもちゃで、業界内で高いシェアを誇っています。常時200〜300種類を取り揃え、縁日のすくい人形屋台、ゲームセンターに置かれているミニクレーンなどで景品として使われています。

他にもスーパーボール、光るボトル、ポーチ、文具セットなど約700種類と豊富な商品を扱っていることが強みです。

品質にこだわるものづくり

新しいオリジナル商品を作る際には、まず営業がお客様のニーズのヒアリングや市場調査をします。商品の方向性が定まったら、社内のデザイナーがパソコンでイメージを作成します。その後、中国の工場にそのデータを渡します。

試作品を細かくチェックし、不備があれば修正を依頼。「最終的に商品を手にとったお客様が満足するかどうか」を判断基準に、納得するまで何度も確認と修正を繰り返します。単価の安い商品だが

らといって妥協することは一切ありません。問題がなくなつた段階で発注をかけ、量産に入ります。

カプセルトイ市場へ新たな挑戦

低価格おもちゃの卸売り部門、ネットショップ部門に加えて、2023(令和5)年にカプセルトイ部門を立ち上げました。カプセルトイが大好きで、いつか販売をやりたいと言いつつ続けていた社員がいたこと、近年市場規模が急拡大していることが立ち上げのきっかけになりました。

市場に出ている商品はほとんどが1個300円以上の価格帯で、競争が激化しています。弊社ではこれまでのノウハウを活かして、100〜200円の商品を生産できるため、差別化を図ることができると考えました。

赤い牛を模した張り子の民芸品『赤べこ』の形をしたカプセルトイを製作したところ、1種類1万個売れたら大ヒットと言われる中、これまでに7〜8万個が売れ、現在も予約注文が続いています。



現在も予約注文が続いています。

かぶしきがいしゃさんようどう
株式会社三洋堂

〒482-0005 岩倉市下本町天神塚 155
TEL: 0587-66-2499
https://sanyodo.ne.jp



■会社概要

1985(昭和60)年に設立。縁日での焼き栗販売などの事業を行っていた時期を経て、20年前からは低価格のおもちゃ製造をメインとしています。本社は岩倉市、支社は東京にあります。物流センターは小牧市内に2か所あります。

2024(令和6)年4月現在の従業員数は47名。人材募集をする度に定員をはるかに上回る応募があり、20〜30代の若い社員が多く在籍しています。完全週休2日制を採用し、基本的に残業はせず、勤務時間内に集中する働き方を推奨しています。



「おもちゃが好きだからこそ、商品にこだわり、ちゃんとした形でお客様に届けられることが喜びです」とキラキラ輝く眼差しで話す小林取締役。(株)三洋堂は子どものような好奇心とビジネスセンスを合わせ持ちながら、手に取った人が思わず笑顔になるおもちゃを提供し続けています。